平成２１年度　第２８回
北海道中学生新人バドミントン競技選手権大会
札幌地区選手選考会（秋季個人戦）
連　絡

２００９．１１．１０

（１）北海道バドミントン協会推薦規程による、全道大会の推薦選手

北海道バドミントン協会競技委員会推薦規程
　シングルス　全道中体連個人戦シングルスで２回戦を勝ち抜いた１，２年生
　　全道ジュニア南・北で第１位、２位の者
　ダブルス　　全道中体連個人戦ダブルスで２回戦を勝ち抜いた１，２年生ペア

男子シングルス　柏原　剛毅①（札幌真栄中学校）
該当基準・・・全道中体連個人戦シングルスで２回戦を勝ち抜く
武石　優斗①（千歳駒里中学校）
該当基準・・・全道中体連個人戦シングルスで２回戦を勝ち抜く
女子シングルス　松本　麻佑②（札幌厚別南中学校）
該当基準・・・全道中体連個人戦シングルスで２回戦を勝ち抜く
全道ジュニア南で第１位
石澤　未夢②（札幌平岡中学校）
該当基準・・・全道ジュニア南で第２位

以上４名は、無条件で全道大会に出場できます。
全道大会申し込みのための書類は、後日学校宛に送付いたします。

（２）中体連新人戦の結果による（札幌市、石狩管内中体連新人戦１位）、全道大会出場決定済み選手

男子シングルス　佐野　巴秋②（千歳富丘中学校）
男子ダブルス　吉田　健太②・金山　和雅①（石狩聚富中学校）
熊谷　直悦②・三浦慎太郎②（札幌発寒中学校）
女子シングルス　山﨑史歩子②（千歳富丘中学校）
女子ダブルス　太田　莉緒①・井上　紗那①（千歳富丘中学校）
松井　　南①・葛西　優香①（北星学園女子中学校）

（３）札幌地区からの全道大会参加割当数

推薦選手は除く。（　　）内の数字は代表決定戦による選出数
男子シングルス、男女ダブルスは、今年度の全道中体連大会で、ベスト４に入った選手がいるため、１追加されている。

男子シングルス　７（６）　男子ダブルス　７（５）
女子シングルス　６（５）　女子ダブルス　７（５）

以上シングルス２名、ダブルス４組は、選考会では、代表決定戦を勝ち抜いた者との順位決定戦のみに出場し、全道中学生新人大会への札幌地区からの申し込み順位を決定します。
全道大会申し込みのための書類は、後日学校宛に送付いたします。

（４）選手、引率者は、以下のことにご注意下さい。

①試合、審判について

☆ コールがかかったら、試合の出来る格好でコートに入り、審判が来るまでの練習を認めます。審判がコートに到着したら練習をやめ、すぐ試合をはじめて下さい。

☆ コート脇のカゴには、「ラケット、タオル、飲み物」以外のものは入れないでください。

☆ 各コートにはベンチを２つ設けます。メインアリーナ（競技室）には、選手、線審と、監督、コーチ（２名まで、外部指導者、保護者、引率者、生徒でも可）しかはいれません。

☆　体育室は２面のみ使用し、中央部分に応援スペースを設けます。応援のマナーを守ってください。ベンチは２つ設けますが、監督、コーチ（２名まで、外部指導者、保護者、引率者、生徒でも可）しかはいれません。

☆　体育室は予定終了後閉鎖しますので、練習などには使わないでください。１位選手の調整練習時間については、必ず監督、コーチがついて、監督、コーチの責任において行ってください。１位選手同士の練習試合などを行っても構いません。

☆　主審は敗者審判校制で行います。線審は対戦校から１名ずつ出してください。審判を行うのは監督、コーチ、マネージャー、外部コーチ、生徒、誰でも構いませんが、「全道大会の予選」ですので、責任を持って主審ができる者が主審を行ってください。

☆　代表決定後は順位決定戦が行われます。同じ学校が何コートも審判を行うこともあります。多くの選手を参加させている場合、それを見越して最低でも選手と同数以上の審判要員を帯同してください。

☆　得点表示係、線審などの補助要員を本部より出せません。１名で参加される場合、必ず線審、敗者審判時の得点表示をやる者を必ず連れてきてください。ダブルス１組で参加される場合も同様です。

協会主催大会は、大会に参加する者すべての力で運営されます。学校の先生、保護者、ジュニアクラブのコーチ問わず、大会運営にご協力ください。

②表彰・全道大会申込みについて

☆　全道大会に出場が決定した場合、出場選手全員を表彰いたします。

☆　表彰後、全道大会申し込みに関する重要な連絡がありますので、責任者（成人）は必ず出席してください。また、全道大会の参加料２，０００円も集金しますので、ご用意をお願いします。

☆　プログラムは当日選手＋１配布いたします。

☆　この大会に関する問い合わせは、別紙大会要項をご参照の上、お願いいたします。

☆「タイムテーブルの注意事項」「西区体育館利用上の注意」もよく読んで、御協力お願いします。

以上、よろしくお願いします。